

VI 次の問題 1 ~ 2 に答えよ. 解答はそれぞれ所定の用紙に書け.

以下において, 溶液の濃度 M は, 1 M = 1 mol / L を示す.

問題 1 0.10 M HCl 水溶液 20 mL, 0.10 M アンモニア水 20 mL, 0.15 M 酢酸水溶液 30 mL, および 0.20 M NaOH 水溶液 30 mL を混合した.

下記の問 1 ~ 5 に答えよ.

必要ならば次の平衡定数値を用いよ.

酸解離定数 (p K_a 値) 醋酸 : 4.7; アンモニウムイオン : 9.3

エチレンジアミン四酢酸 (EDTA : H₄Y) :

p K_{a1} = 2.1, p K_{a2} = 2.8, p K_{a3} = 6.2, p K_{a4} = 10.3

キレート生成の安定度定数 ($\log K$ 値) Fe²⁺-Y⁴⁻ : 14.3

問 1 この混合溶液中のアンモニア濃度 [NH₃] を求めよ.

問 2 この混合溶液の pH を求めよ.

問 3 この混合溶液中の酢酸濃度 [CH₃COOH] を求めよ.

問 4 この混合溶液に 0.02 M EDTA (Na₂H₂Y 型) 0.1 mL と 0.01 M Fe²⁺ 0.1 mL を加えた. この溶液中の鉄(II) イオン濃度 [Fe²⁺] を求めよ.

問 5 問 4 の溶液中の Y⁴⁻ 濃度 [Y⁴⁻] を求めよ.

問題 2 海水, 河川水, および雨水中に含まれる微量金属イオンを定量したい. 微量金属として銅 (約 10⁻⁷ M) を例とし, それぞれの試料に対して用いることができる定量法を述べよ. また, その定量法を用いることができる理由も述べよ.